※令和３年度以前入学生用

学校番号	110

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　現代文Ｂ　新訂版」　（大修館書店出版）						
副教材等	「新演習　現代文　アチーブ３　四訂版」　（桐原書店） 「語彙力をつける　入試漢字２６００」　（筑摩書房） 「プレミアムカラー　国語便覧」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１、２年生で身につけた国語の基礎的な力をもとに、さらに発展的な学習に取り組んでいきましょう。
・近代以降の様々な作品に触れ、「読む能力」を向上させると共に、問題意識をもって取り組み、社会や地球環境、文学をめぐるあらゆる問題に気づき、感じ取る力を高め、人間理解を深めていきましょう。
・文章要約や感想文などを通じて、「書く能力」「表現する能力」を高める授業も行います。
・予習として必ず本文を読み、漢字の練習や語句の意味調べをしておきましょう。

2　学習の到達目標

・文章の内容や構成、筆者の主張や登場人物の心情、および背景となる文化や思想を的確にとらえることができる。
・論理的な思考に基づき、場や相手に応じて的確で豊かな言語表現ができる。
・正しく意見を伝え合い、相互理解を深めることで、他を尊重する心を育む。
・ものの見方、感じ方、考え方を深めることで、人生を豊かにする態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。主題に対しての関心を持つ。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	文体や修辞などの表現上の特徴をとらえている。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにしている。
評価方法	行動の観察 記述の点検(ノート、プリント等)	行動の観察 （発問に対する答え方､他生徒の答えに対する反応、意見の交換等)	記述の確認及び分析 （ノート、プリント、原稿用紙等)	記述の確認及び分析 （ノート、プリント) 定期考査	小テスト及び定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
二学期	小説(二)	教材:「巨人の接待」	○			◎	○	a:小説のおもしろさを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。 d:場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。 e:少数言語の状況について、おおまかな知識がある。	a:観察・自己評価 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
	評論(二)	教材:「実体の美と状況の美」		○		◎	○	b:筆者の主張と関連を示しつつ、日本人の美意識が示される具体例を述べている。 d:筆者の述べる「実体の美」と「状況の美」がどのようなものか正しく理解している。 e:教材文中で紹介されるん本や西欧の芸術作品た建築物などについて、おおまかな知識をもっている。	b:観察・ノート(メモ等)・定期考査 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
	小説(一)	教材:「赤い繭」	○	◎			○	a:小説を読むことを楽しみ、作品の内容について自分の考えを深めようとしている。 b:他人の意見を尊重して聞いている。 e:　作者についての知識を持っている。	a:観察・自己評価 b:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
	評論(三)	教材:「「である」ことと「する」こと」			○	◎	○	c:教材文を読んで考えたことを、教材文を参考にして文章にまとめている。 d:段落ごとの要旨を把握し、全体の構成を理解している。 e:封建社会のあり方や、近代化による社会の変容について、大まかな知識をもっている。	c:作品・自己評価・相互評価 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査

※令和３年度以前入学生用

二学期	小説(三)	教材:「舞姫」	○	◎		◎	○	a: 人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、人間の生き方についての自分の考えを深めたり発展させたりしようとしている。 b:登場人物の生き方について話し合うことで自分の考えを深め、まとめている。 d:人物、情景、心情の描写などを的確にとらえている。 e:文体や修辞などの表現上の特徴を的確にとらえている。	a:観察・自己評価 b:観察・ノート(メモ等)・定期考査 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
	評論(四)	教材:「猫は後悔するか」	○		◎	○	○	a: 要旨を理解し、人間、科学、自然等に対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 c:文章の要旨を理解し、科学、自然などに対する思想について論理的に意見を表明しようとしている。 d:文章の要旨や構成を的確に理解している。 e:語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにしている。	a:観察・自己評価 c:作品・自己評価・相互評価 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
	小説(二)	教材:「檸檬」	○	◎		◎	○	a: 人物、情景、心情の描写などを的確にとらえようとしている。 b: 人物の生き方について話し合うことで自分の考えを深め、まとめている。 d: 人物、情景、心情の描写などを的確にとらえている。 e:文体や修辞などの表現上の特徴をとらえている。	a:観察・自己評価 b:観察・ノート(メモ等)・定期考査 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
	評論(五)	教材:「生物多様性の恩恵」	○			○	○	a:環境問題に関わる教材に興味をもって、意欲的に学習に取り組んでいる。 d:文章の構成を理解し、内容の概要を把握している。 e:生態学がどのような学問か大まかな知識がある。	a:観察・自己評価 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査

※令和３年度以前入学生用

三学期	評論(六)	教材:「無常ということ」	○			◎	○	a:教材文を通じて、歴史というものへの認識を深めようとしている。 d:筆者の考える「無常」とはどのようなものかについて、自分の考えを深めている。 e:兼好・鴎外・宣長・川端康成といった本文中で言及されている人物について、大まかな知識をもっている。	a:観察・自己評価 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査
		教材:「日本文化の三つの時間」			◎	○	○	c:筆者の主張を把握して、わかりやすく文章にまとめている。 d:「循環する時間」は日本人のどのような感性によるものか、理解している。 e:本文中の和歌について内容を理解している。	c:作品・自己評価・相互評価 d:観察・ノート(メモ等)・定期考査 e:観察・ノート(メモ等)・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b: 話す・聞く能力　c: 書く能力
d: 読む能力　e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。